






事例 10

<p>タイトル</p>	<p>海老川、前原川、海老川調節池周辺、地域清掃活動</p>
<p>実施主体</p>	<p>(社) 倫理研究所、家庭倫理の会、船橋市</p>
<p>概要</p>	<p>海老川調節池について年4回、市民まつり後の早朝、各駅周辺月1回、船橋漁港周辺、三番瀬クリーンアップ、船橋をきれいにする日、クリーン船橋530の日における清掃活動の実施。</p>
<p>実施例</p>	<p>・クリーンアースデー 平成20年12月14日(日)実施の様子 参加45名(他団体12名)、海老川調節池 あいにくの雨天の中、45名の人が集まって恒例の清掃活動を行いました。今回は青年も加わり、大型ごみの処理などに汗を流しました。 これらの活動のおかげで、以前に比べたらかなり綺麗になってきたのは確かです。しかし、まだ、少数の悪質な投棄があります。これがなくなるまでこの活動は続けなければなりません。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: right;">(船の橋新聞より)</p> <p>・三番瀬クリーンアップの様子</p> 
<p>留意事項</p>	<p>不法投棄がまだまだ多く、パトロールの必要性を感じる。</p>

事例 1 1

<p>タイトル</p>	<p>「そーっとのぞいてみてごらん」水辺の体験活動</p>
<p>実施主体</p>	<p>ふなばしネイチャーゲームの会</p>
<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・桑納川の生き物調査や水辺の体験活動を行っている。 ・平成17年から毎年9月に川と親しむイベント「川のネイチャーゲーム」を実施。地域の人々に川へ関心と親しみを育む活動をしている。 ・川の見守り。定期的にパトロールし、異変や不法投棄を監視。
<p>実施例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年9月13日 桑納川「川のネイチャーゲーム」親子30名参加。  <ul style="list-style-type: none"> ・川の生き物から水質調査 

	<p>・「創ろう！川のあるまちの設計図」：調査結果のまとめ、川の生き物マップを作成。</p>  <p>・テナガエビ・クロメダカ ドジョウ・ヨシノボリ・ カメ・タナゴ・アメリカ ザリガニ・マムシ</p> <p>・川の見守り活動：異変があったら連絡をしています。</p>  <p>小型オートバイを発見</p>
<p>留意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・船橋市古和釜地区の自治会小学校幼稚園等、地域の人々の参加を積極的に呼びかけていく。 ・近隣の地権者さんとの交流を深める必要がある。 ・ゴミ、不法投棄がないよう今後も見守り続ける。

事例 12

<p>タイトル</p>	<p>河川の浄化活動</p>
<p>実施主体</p>	<p>NPO法人 安房の海を守り育む会</p>
<p>概要</p>	<p>宇田川、どんどん川、汐入川の浄化活動を定期的に行っている。毎月第一水曜日、液体ゴミの減量化等について学習会を開催。環境改善のため、「清掃活動」、「植物の種子、球根の植え付け活動」、「河川の点検活動」「小中学生への環境学習指導」等を行っている。</p>
<p>実施例</p>	<p>・ 河川点検活動の様子</p>  <p>・ 河川浄化活動の様子</p> 
<p>留意事項</p>	<p>・ 「河川の点検活動」では川の中に入るため、安全性を充分考慮する必要がある。</p> <p>・ 活動地域では、すでに十分な成果を得ている。現在では、館山湾に注ぐすべての流域に活動の輪を広げていくことを目標にしている。</p>

事例 13

<p>タイトル</p>	<p>河川の清掃活動</p>
<p>実施主体</p>	<p>NPO法人 都川の環境を考える会</p>
<p>概要</p>	<p>都川の清掃活動を定期的に行っている。 その他、近隣小学校の環境学習にも協力し、生物観察会を行っている。 また、県及び市の関係課とともに流域の小・中学生を対象に、自然環境の実態観察及び体験学習の場を提供している。 都川の自然とふれあうイベントなど定期的を開催している。</p>
<p>実施例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動の様子  <ul style="list-style-type: none"> ・環境学習における生物観察会の様子 
<p>留意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの参加者のもと活動を行っていく必要がある。また、流域全体に活動を広げていくことが重要である。 ・生物観察会などの実施に当たっては、安全性を考慮する必要がある。